

華

第58号

令和元年11月発行



大好きな海に大喜びの男の子



「ハヤル心」を抑えて準備体操

また今年も南淡路市の「淡路ファーム・パーク・イングランドの丘」にも足を延ばし、羊の「餌やり体験」や満開の向日葵畑を満喫して夏休みの良い思い出となりました。

子供の家では、令和元年7月21日(日)23日(火)、お馴染みの「淡路青少年交流の家」でキャンプを楽しみました。台風の影響で2日目までは海に入れなかったのが、急遽3日目のプログラム変更をしてやっと待望の海水浴が出来、真っ青な空と海に子ども達は大喜びでした。

子供の家キャンプ —今年も淡路島へ—



3日目にヤット海水浴が実現



羊のえさやり体験(「イングランドの丘」)

夏休み



「イングランドの丘」記念像の前で像のポーズをマネルスタッフ(似てる人も全然の人も)

ふじだな

文化の秋を迎え、気持ちも新たにカルチャー活動などをお楽しみのことと思えます。

スポーツの秋・食欲の秋そして実りの秋などこの時期を充実期として捉える一方で、「秋風が立つ」や「秋扇」など侘しさや寂しさを感じさせる季節でもあります。

また、11月からは年賀状の発売が始まり、来るべき年に思いを馳せる方もおられるでしょう。十二支のアンカー(亥)がトップ(子)にバトンタッチすることになります。

今年も二つの年号が同居する年となりましたが、「令和」の名称に皆さん、馴染まれたでしょうか。「平成」もさることながら、戦前生まれの方には、長く親しんだ「昭和」も忘れ難い存在ではないでしょうか。来年は「昭和95年」となります。

「ふじい」では、音楽療法の時間に平成20年から毎週火曜日に福島陽子先生のご指導を頂いています。ご利用者の中には、「コミュニケーションの苦手な方もおいでですが、先生は、ご利用者お一人おひとりとしつかりと向き合い、歌や音楽を通して、ご利用者がお出来ることや好きなこと、逆に不得手なことなども受け止め、それぞれの方に楽しんで頂けるような関わり方をとても大切にされています。



「感動」の音楽療法タイム
～ふじい・はぎ～ 福島陽子先生

ボディアクションも素敵な福島先生

(ウクレレ演奏者は福島先生の
恩師ロビン先生)

先生は、いつも元気にとても明るく、折々に素敵な衣装で登場されたり、新しい楽器を使って新鮮な雰囲気を作られたり、ジョークを交えながらチャタリングな笑顔で語りかけながら歌や演奏を満喫させて頂いています。

「ふじい」では、月に一度有賀喜代子作業療法士の指導により「しみず」は、令和元年9月17日から22日まで、大阪モノレールの少路駅ギャラリーでご利用者の絵画作品を展示し大勢の乗降客に鑑賞して頂きました。展示場所の移転後、初めての開催となりましたが、少路駅のギャラリーは改札を入ってすぐの所にあるので、一層皆さんの目に触れることが多かったと思います。



額に入れると「名画展」の雰囲気です。

「しみず」では、月に一度有賀喜代子作業療法士の指導により「しみず」は、令和元年9月17日から22日まで、大阪モノレールの少路駅ギャラリーでご利用者の絵画作品を展示し大勢の乗降客に鑑賞して頂きました。展示場所の移転後、初めての開催となりましたが、少路駅のギャラリーは改札を入ってすぐの所にあるので、一層皆さんの目に触れることが多かったと思います。

～真華苑～

歌手 真奈尚子さん来る！



コンサートの合間にスピーチされる真奈さん

令和元年10月6日(日) 真華苑ではプロ歌手の真奈尚子様、ピアノ演奏の黒滝忠志様にお越し頂き「オータムコンサート」を開催しました。

真奈様は、北春日丘にお住まいで、歌謡曲、シャンソン等、幅広いジャンルを歌われる歌手として活躍されており、有り難くもこのたびコンサートが実現しました。観賞には真華苑ご利用者、法人事業所の方々、また近隣にお住まいの皆様など多くの方に来て頂きました。

歌謡が始まって「赤とんぼ」を初めとした季節の童謡では真奈様に促されて会場の皆様も懐かしいメロディを共に口ずさみ、また、真奈様のオリジナル曲では黒滝様の流麗なピアノ伴奏のもと、ゆったりとした気分で素敵な歌声に聞



季節の歌を口ずさむ会場の皆さん一人ひとりにマイクを向けられる真奈さん

き入り、会場全体が「芸術の秋」に相応しい優雅で清々し雰囲気包まれました。楽しいひと時はあつという間に流れ、最後の曲が終わると皆さんからの盛大な拍手で締め括られました。今回の企画にご協力頂きました真奈様、黒滝様に深く感謝申し上げますとともに、この素晴らしいコンサート開催を契機として、今後とも地域の皆様に支えて頂き、ご利用者に充実した毎日を送って頂ける施設であり続けるように職員一丸となって日々努めるべく思いも新たにしております。



修了書を手に笑顔の皆さん

～第2回介護職員実務者研修～

7名の方に修了証授与

平成31年4月6日から、第2回「慶徳会介護職員実務者研修」を開講し、法人職員を含む7名の受講生の皆さんが、スクーリングを含む約6カ月間(最高450時間)に及ぶ厳しい研修を見事クリアされ、9月27日の修了式において理事長から修了証を授与されました。

皆さんからは、「根拠に基づいて介護することの大切さを感じた」「基礎的なことを教わってから、自分に自信をもって働けるようになりました」等の声が寄せられました。

この後、引き続き年末までに法人主催の「介護福祉士受験対策セミナー」も履修予定で、受験資格のある方は、猛勉強の上、年明け26日に実施される国家試験に臨まれます。

皆さん全員が晴れて「介護福祉士」の資格を取得され、斯界で一層のご活躍をされますよう心から祈念申し上げます。

防災月間中の令和元年9月11・18日に本部研修室で日頃お世話になっている地域の皆様方に法人事業所のご利用者や職員を交え、通算8回目となる「災害時非常食体験会」を開催しました。初めに理事長から地域の皆様にご挨拶とご参加のお礼を申し上げた後、見市えり子法人主任栄養士が非常食の献立と調理方法を紹介しました。食材の中には日常食を活用しているものもあれば「非常食用」の製品もありました。普段調理することがない非常食を口にされ「非常食とは思えない位美味しい」「非常時にもこのように温かいものを食べることができたら…」等のご感想を頂きました。

今年も大好評！！

「通り食事が進んだ後は、ききよの永野有洋管理者が「防災物品」について説明し、「非常持出リュック」に収納した「ラジオ」や「給水袋」にアルミ製の「防寒シート」など17種類もの防災用品を紹介すると、会場からリュックの値段について質問が飛び出すなど皆さん大変関心を高められたようでした。今後発生が予想される「南海トラフ地震」を初め、大災害に備えた防災意識を高揚する場として、また、法人事業所とご利用者が地域の方々との交流を深める貴重な機会として今後も工夫しながら継続していきたいと思っております。

「非常食体験会」～見付山地区～



非常食体験会では防災の話がはずみしました。



「非常持出リュック」の防災用品の説明に熱の入る永野管理者

「ラフ地震」を初め、大災害に備えた防災意識を高揚する場として、また、法人事業所とご利用者が地域の方々との交流を深める貴重な機会として今後も工夫しながら継続していきたいと思っております。

楽しみにしていた納涼大会が昨年続き、中止となりましたが、慶徳会伝統行事である地藏盆会は、8月24日に、地蔵街道のおみかきとお供物の準備をした上、午後5時から子供の家の子ども達24名を含むご利用者・役職員を合わせて47名が参加して慶昌堂(前)で厳修させて頂きました。お声明の中、お焼香が終わるころに、先ほどまで薄日が差していた天気が一変して強い雨が降り出しました。突然のことでしたが、子ども達も少しもあわてることなく、職員の誘導で常観堂内に移動して中根超信お導師のご法話を聴聞しました。



地藏盆会の法要

雨で水入りのハプニング！！ ～令和元年の地藏盆会～

お話は地蔵盆会に因んで、お地蔵さまが地獄に落ちようとする子どもを助けた物語でしたが、お話を聞いた子ども達からは「地獄は怖いところだ」と思っていたけど、怖いだけではないと感じた。「地獄のことを聞いて勉強になった。」などの感想が寄せられました。大人の皆さんも地蔵盆のいわれを聞いて、大変感慨深そうに頷いておられました。仏事を通じて人生観を振り返ることができる、このような行事をこれからも大切に続けていきたいと思っております。(合掌)



雨を避け常観堂で中根導師の法話に聞入る参詣者

～第9回～「介護職員初任者研修」開講

通算9回目となる令和元年度の「介護職員初任者研修」を8月31日(土)に開講しました。今回は、法人職員2名を含め6名が受講されており、多くは現在の仕事のスキルアップを目的とされていますが、中には介護の仕事に関心を持って学習を志した方もおおいです。猛暑の季節に始まり、寒気が身に染みる12月の21日まで、この間の土日を対象に全21回の講座を受講して頂きます。皆さんは、めでたく終了式を迎えるべく、頑張ってください。